

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	086	事業名	田園バレー事業	担当部課	建設部みどりの推進課
------	-----	-----	---------	------	------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	予算区分(款 - 項 - 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物	5-1-7 長久手田園バレー事業費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手田園バレー基本計画、長久手市食育推進計画		
事業開始の背景、経緯等	平成25年度に改訂された長久手田園バレー基本計画に基づき、「農」の多様な役割を生かし「農のある暮らし・農のあるまち」の実現を目指すため。			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 食育推進、あぐりん村再整備等により「農のある暮らし・農のあるまち」の実現を目指す。			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 農に関わる市民			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 多くの市民が農に親しみ、農とふれあいながら、自身の居場所や役割を見つけ幸福に暮らす。			
	事業を構成する事務事業(B票)	① 長久手田園バレー事務事業	拡充	④	
	② 長久手田園バレー整備事業	拡充	⑤		
	③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	決算	予算	4,234	406	442	25,088
決算				2,374	643	214	19,841	
人件費(B)	千円	決算	—	3,972	3,383	4,973		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	-	4,615	3,597	24,814		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A 長久手食育推進支援会議開催回数	回	目標	—	—	1	1	2
実績			—	—	1	1	2	
B 再整備施設数	施設	目標	—	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—	
C		目標	—	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—	
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	市民と行政が連携し、積極的かつ魅力的な食育活動推進を目的とする会議を開催し、各事業の取組状況について議論することで食育を推進するため。							
B	あぐりん村の売り場拡大を行うことで、農業者の耕作意欲向上、生産者と消費者の交流の場創出、地産地消を促進するため。なお、平成32年度の工事完了を目標とする。							
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 食育基本法(平成17年制定)、第3次愛知県食育推進計画(平成28年策定)等に基づき、他市町でも食育推進計画を作成している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 食育推進支援会議の開催回数は目標を達成している。 再整備施設数は平成30年度に基本計画及び基本設計が完了している。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 平成30年度からあぐりん村再整備等の新規事業を開始した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) あぐりん村の売り場面積の不足や、天候不良による不作、鳥獣被害など様々な要因により、農業者の耕作意欲が減少している。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 引き続き、食育推進計画、あぐりん村再整備等の事業を進める。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) あぐりん村の売り場拡大や充実等の再整備を行うことで、農業者の耕作意欲の向上に繋がる。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	田園バレー事業		担当部課	建設部みどりの推進課	決算書ページ	—
事務事業名	①	長久手田園バレー事務事業	予算区分	5-1-7 長久手田園バレー事業費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	—	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市食育推進計画に基づき、長久手食育推進支援会議を開催し、各事業の進捗状況を議論する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 長久手市食育推進計画の進捗状況を分析し、より地域の実情に沿った食育に関する施策を計画的に推進する。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	—	246	282	324	335
		決算	—	200	133	227	—
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1) 長久手食育推進支援会議委員報償金						110 千円	
(2) 消耗品費						76 千円	
(3) 食育アンケート仕分け事務作業委託						38 千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
長久手食育推進支援会議開催回数	回	見込	—	1	1	2	2
		実績	—	1	1	2	2
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
長久手食育推進支援会議を開催し、各事業の取組について議論した。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

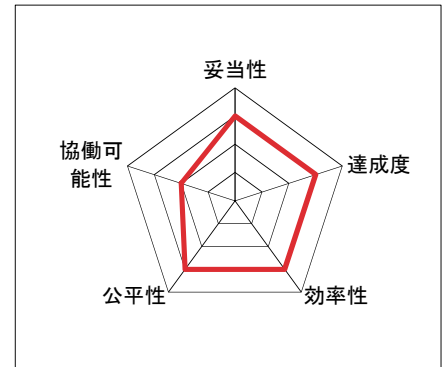
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 食育基本法(平成17年制定)、第3次愛知県食育推進計画(平成28年策定)等に基づき、本市でも平成28年に第2次長久手市食育推進計画を策定した。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
324 千円	335 千円	11 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】	—	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
—		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	2



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	3	3	3	3
実績	3	3	3	3
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
長久手食育推進支援会議において、市民の意見を聞くため公募委員に審議してもらった。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
平成30年度は第2次長久手市食育推進計画の中間アンケート調査を行い、計画の進捗状況と対策について食育推進支援会議で議論した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
平成32年度が第2次長久手市食育推進計画の完了年度であるため、関係各課と連携しながら、計画の進捗状況を踏まえて各事業に取り組んでいく。

7. 今後の方向性

拡充

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	田園バレー事業		担当部課	建設部みどりの推進課	決算書ページ	—
事務事業名	②	長久手田園バレー整備事業	予算区分	5-1-7 長久手田園バレー事業費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	—	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) あぐりん村の売り場拡大や充実等の再整備を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 農業者の耕作意欲が向上するとともに、あぐりん村の新たな魅力が創出される。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	—	160	160	24,764	13,566
		決算	—	443	81	19,614	—
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1)		あぐりん村改修事業委託				10,476 千円	
(2)		あぐりん村改修工事				4,946 千円	
(3)		アグリサポートセンター基礎調査業務委託				2,160 千円	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
再整備施設数	施設	見込	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		見込	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
平成30年度にあぐりん村再整備の基本計画策定及び基本設計を実施した。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

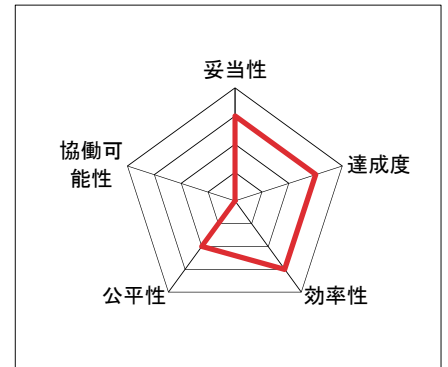
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) あぐりん村の売り場面積の不足により出荷が妨げられ、農業者の耕作意欲の低下に繋がった。
--

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
24,764 千円	13,566 千円	△ 11,198 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】	—	
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか) —		

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	2
協働可能性	—



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	—	—	—	—
実績	—	—	—	—
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
あぐりん村の再整備は指定管理者及び市民を中心とする出荷者組織と協議して進めている。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
あぐりん村において平成29年度に「旬菜ごはん市場」をオープンし、惣菜と米の売り場を充実させた。また、平成30年度にはレストランをリニューアルオープンするなど、指定管理者と連携しながら施設全体の魅力向上に努めている。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
あぐりん村の売り場面積の不足や、天候不良による不作、鳥獣被害など様々な要因により、農業者の耕作意欲が減少しているため、あぐりん村の再整備を行うことで意欲向上を図る必要がある。

7. 今後の方向性

拡充
